

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

E. 学習・研究環境の改善

④ICT 技術を利用した遠隔教育の推進

●東洋大学経済学研究科公民連携専攻

「公民連携人材開発プログラム」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

インターネットを使った遠隔教育を導入したが、運用が不安定なこともあった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

インターネットであるため利用者の環境によって大きく左右され、利用者との回線が切れたり画像がフリーズしたりした。場合によってはその復旧のため一時講義を中断せざるを得ないこともあった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

講義の運営をネットの負荷を下げるような工夫（ファイル容量を小さくするなど）を行って、ほぼ安定した。専用線は高価なためとても使えない。費用対効果に優れているインターネットに勝るものはないので、欠点のある程度認めてできるだけ運用を改善することにした。